

令和元年度
鯨資源調査等対策委託事業のうち鯨資源調査事業（北太平洋鯨類目視調査）
成果報告書

【受託者】

住 所 東京都中央区豊海町4番5号

氏 名 一般財団法人 日本鯨類研究所

1. 目的

本調査は、北太平洋におけるミンククジラ、イワシクジラ、ニタリクジラをはじめ、シロナガスクジラやセミクジラ等の希少種を含むヒゲクジラ類を中心とした鯨類の分布状況の把握、並びにその資源量推定のための目視情報の収集を目的として実施した。

2. 調査体制

水産庁長官が一般財団法人日本鯨類研究所に委託し、それに基づいて勇新丸（724 トン、共同船舶株式会社所有）及び第二勇新丸（747 トン、共同船舶株式会社所有）を用船して実施した。

3. 調査期間

（1）勇新丸

5月10日	下関出港
5月13日	調査開始
6月4日	調査終了
6月8日	下関入港

（2）第二勇新丸

5月11日	下関出港
5月13日	調査開始
6月14日	調査終了
6月26日	下関入港

4. 調査海域

調査海域は、国際捕鯨委員会（IWC）のミンククジラ管理小海区（6E、7WR）とし、6Eは第二勇新丸が、7WRは勇新丸が調査を実施した。

5. 調査結果

目視調査の全調査期間における2隻の合計探索努力量（往復航海を含む）は3,767.8 哩、調査海域における合計探索努力量は3,038.5 哩であった。往復航海を含め、合計283群1,870頭の鯨類（イルカ類含む）が発見され、そのうち、種が特定できたものが16種（ヒゲクジラ類5種、ハクジラ類11種）であった。そのうち、大型鯨類はナガスクジラ、イワシクジラ、ニタリクジラ、ミンククジラ、ザトウクジラ、マッコウクジラの6種が発見された。（表1）

自然標識の撮影はザトウクジラ 1 個体、シャチ 2 個体について実施した。

バイオペシーサンプルはナガスクジラ 1 個体、ミンククジラ 1 個体、ザトウクジラ 1 個体、シャチ 1 個体から採取した。

衛星標識の装着を試みたが、至らなかった。

6. 調査記録等の保管

全ての記録類は調査終了後、一般財団法人日本鯨類研究所資源管理部門が保管する。本調査の詳細な結果は、IWC 科学委員会をはじめとする国際機関等において発表を予定している。

表 1. 調査海域内における大型鯨類の種別発見群頭数

鯨種	発見	
	群	頭
ナガスクジラ	17	28
イワシクジラ	1	2
ニタリクジラ	16	19
ミンククジラ	40	46
ミンククジラらしい	3	3
ザトウクジラ	22	30
マッコウクジラ	66	165
種不明大型鯨類	2	2